

# 8 環境にやさしい社会をめざして

今、地球はないています。わたしたちがくらす便利で住みやすい社会は、一方で自然の力でなおすことができないほどのいたみを地球にあたえています。未来の環境をこれ以上悪くしないために、わたしたちは何をすればよいか、考えてみましょう。

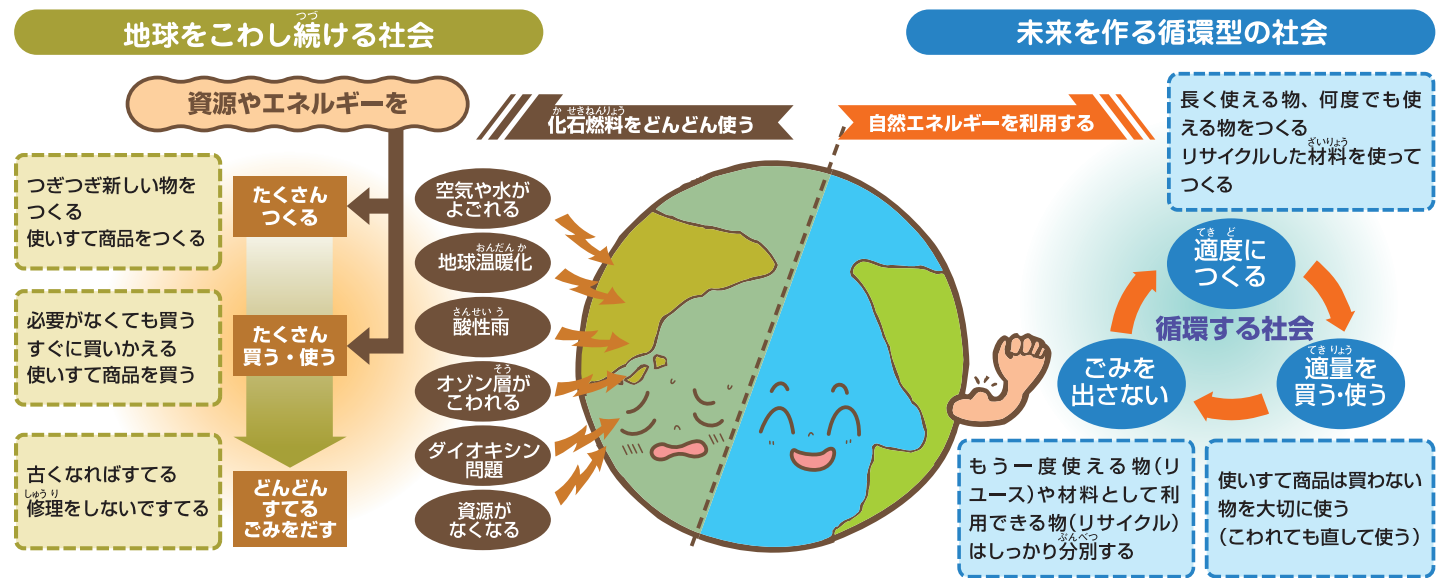
## 環境にやさしい社会をつくろう

わたしたちは、環境をよごしてきた今までの社会を見直し、ごみや有害物質が出ない、むだなく資源やエネルギーが循環する社会をつくっていかねばなりません。環境に悪い社会、良い社会について考えてみましょう。

### 未来をつくる循環型の社会

今までの社会は、たくさんの資源やエネルギーを使って、たくさんの物を作り、いろいろなところで使い、そして、どんどんすててきました。その結果、自然はへり、ごみがふえ、空気や水、土をよごすばかりで、地球の環境に悪いいきょうをあたえてきました。

未来をつくる循環型の社会とは、自然の生態系のような社会です。生態系は、生き物がそれぞれの役割をもち、むだなものを出さない循環している世界です。わたしたちの社会も、かぎりある資源を大切に、有害物質を出さないエネルギーを利用して、長く使える物を作り、大切に使い、使いおわたたら再利用や再生していくというような、有害物質やごみを出さない、資源やエネルギーが上手に循環する社会にしていくことが地球の未来をつくるのです。



### SDGs (持続可能な開発目標)

人間活動が原因となっておこる様々な問題に各国が協力して取り組むため、世界共通の17の目標「SDGs(持続可能な開発目標)」が定められました。これは、地球に住み続けるために、より良い世界をつくっていくことを目標にしたものです。環境問題だけでなく、貧困や人口問題などの経済・社会の問題と一緒に解決すべき課題がふくまれており、地球きばで協力して取り組んでいく必要があります。



## 家庭や学校でできるくふう

地球の環境を守るためにみんなができることがあります。それは、とても大変なことのように思われますが、実は簡単なことです。一人ひとりが自分の生活を見直し、省エネや、ごみをへらすくふうをすることです。環境にやさしいくらしをするには、どんなことをすればよいのでしょうか。

### エコライフの達人になろう

環境のことを心がけて生活することを「エコライフ」といいます。それは、ごみや二酸化炭素をへらしたり、空気や水や木などの自然を守ったりすることです。そのために、わたしたちが、家庭や学校での毎日の生活の中で、電気や水道など、むだなく使うように心がけることが大切です。まずできることから始めてみましょう。

そして、家族や友達、先生と一緒に考えたり協力したりして、エコライフのわざをふやしていきましょう。

### エコライフの達人への道

#### 電気

- テレビは、見たい番組をきめて、つけっぱなしはやめましょう。見ないときは**主電源**から切りましょう。
- 部屋や、教室、ろうかなどの照明は**こまめに**消しましょう。
- 冷蔵庫のむだな**開けしめ**はへらし、**つめこみすぎ**ないようにしましょう。
- ゲームは時間を決めてやるようにし、**電気のむだ使い**をへらしましょう。

#### ガス・水道

- おふろは**続けて入る**ようにしましょう。
- 手あらいや洗面の時は、水の**出しっぱなし**をやめましょう。歯みがきやうがいには**コップ**を使いましょう。
- お風呂のお湯は、**入れすぎ**ないように注意しましょう。
- 雨水の利用、節水コマや手元で操作するシャワーなど、**道具を上手**に取り入れましょう。

#### ごみ

- ごみはせきんにんを持って**分別**して出しましょう。
- 食べ残し**をしないようにしましょう。
- 使いすて**をへらし、つめかえのできるものや、くり返して使えるものを買うようにしましょう。
- ペットボトルや牛乳パックは**お店の回収箱**や**市の収集**などに出しましょう。

#### 環境を考えた活動

- エコマーク**や**グリーンマーク**商品、**省エネ**商品などを買しましょう。
- 校内や地域の**美化活動**に参加しましょう。
- 環境の**学習会**や**ニュース**などに関心を持って、みんなで話し合しましょう。
- 自然を大切に**し、草木や花をむやみにとったり、きずつけたりしないようにしましょう。

### 環境を考えた作られたもののマーク

**エコマーク**  
環境を考えた作られた商品についています。

**R100**  
古紙配給率100%再生紙を使用しています。  
**再生紙使用マーク**  
古紙が使われている割合が表されています。

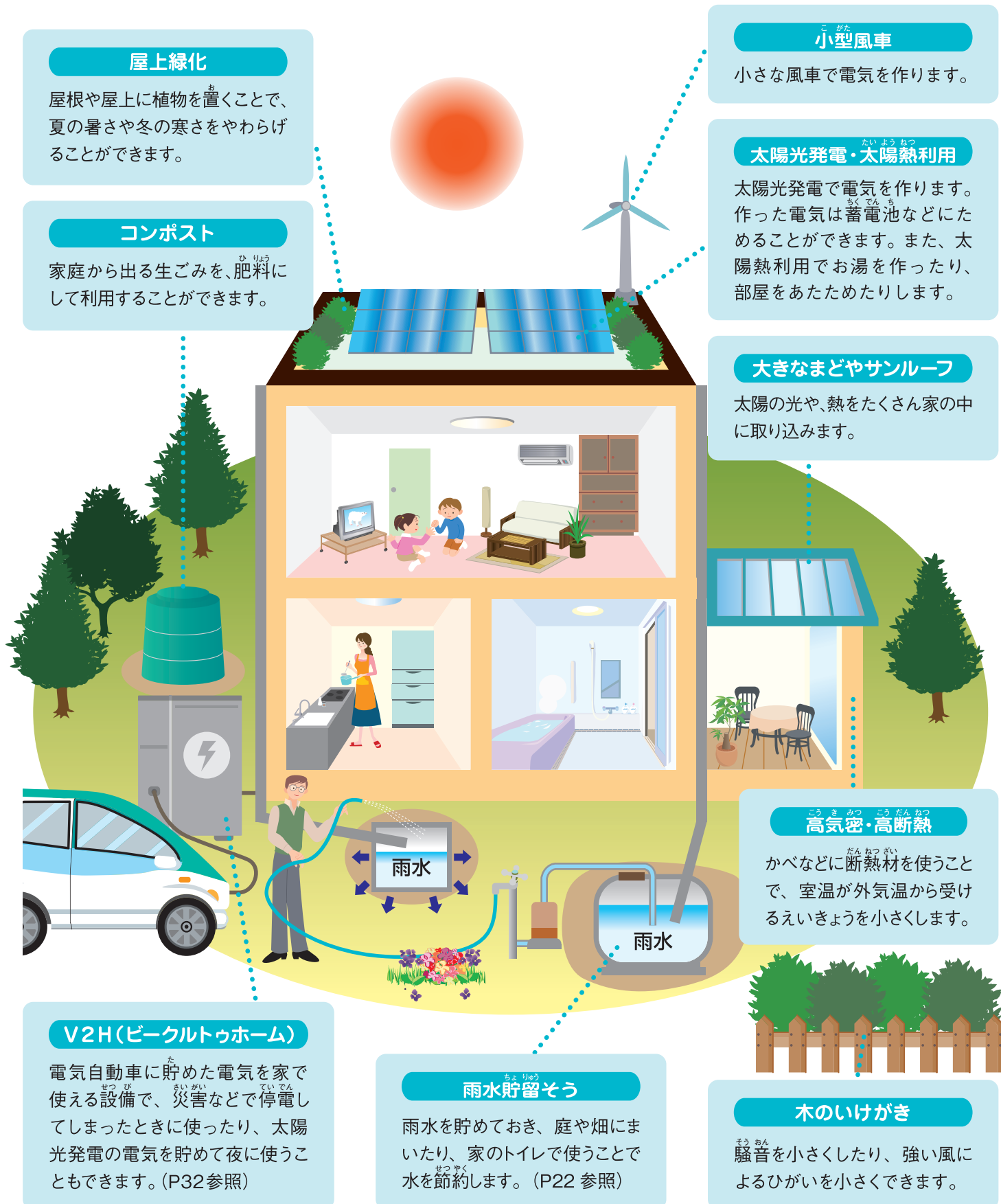
**省エネ商品マーク**  
どのくらい省エネになるかを表します。

**グリーンマーク**  
環境に配慮した商品についています。



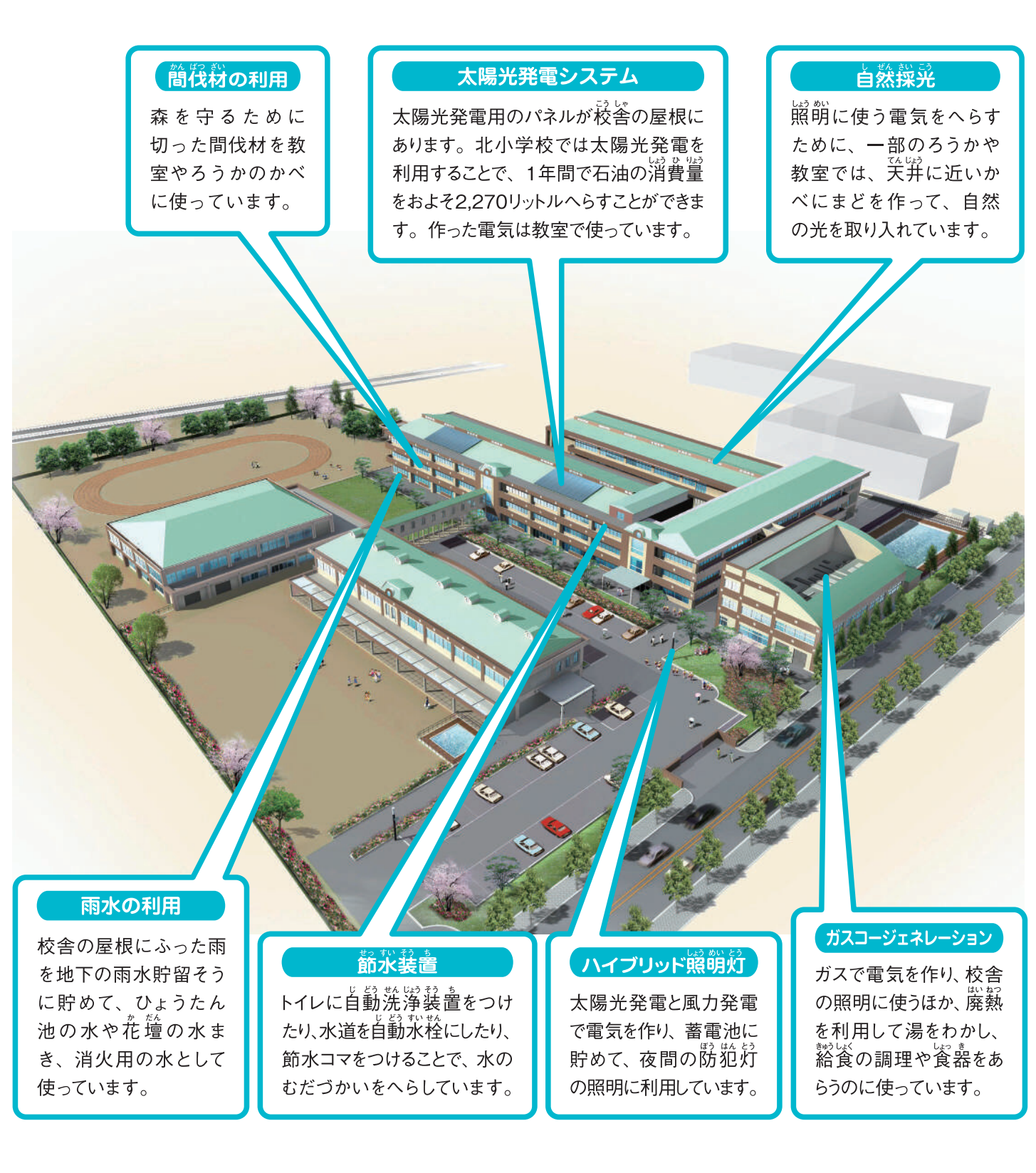
## 地球にやさしい家 エコハウス

エコハウスとは、その地域の気候、地形、自然環境、土地の条件や住む人のライフスタイルに合わせて、自然エネルギーを最大限に利用し、地域の材料を使うなど、環境に配慮した方法で建てられた家のことです。建物だけでなく、草木を植えて日よけにしたり、ゴミを出さないように心がけたりするなど、住む人の行動も大切です。



## 環境を考慮した学校施設 エコスクール

エコスクールとは、雨水や太陽のエネルギーを利用する、環境にやさしい学校のことです。三島市にはエコスクールとして建てられた小学校が何校かあります。そのうちの一つ、北小学校にある環境にやさしい設備をしょうかいします。





## みんなでやる活動や参加できる市の取り組み

みなさんの学校や地域、また三島市では、環境に関するさまざまな活動をしています。それぞれの取り組みをしょうかいします。

### 小中学校の取り組み

市内の小中学校では、授業や児童会・生徒会の活動、PTAや地域の方々と一緒にやる活動など、さまざまな形で環境に関する活動に取り組んでいます。

- 給食の牛乳パック回収 ■アルミかんや古紙回収
- 校外美化活動（錦田中：松並木清掃、中郷小：一般道の花壇のなえ定植など）
- 地域農作物のさいばい（坂小、山田小など）

### 稲作体験学習・かかし作り（山田小学校）

山田小学校では、地域の方々の指導のもと、山田川自然の里にある棚田で稲作体験をしています。5月に田植え、9月にかかし作り、10月にいねかりを行い、しゅうかくしたお米は家庭科の授業で食べています。かかしは楽寿園にてんじと田んぼに設置します。秋には黄金色に実ったいねをナタを使って収穫します。稲作も機械化で便利になった今、自分の手でお米を育てることは貴重な体験です。



### 「学校版環境ISO」の取り組み

学校生活の中で、自分たちの学校のように合わせ、児童会・生徒会などを中心に、環境にいい活動を続けている学校を、三島市が学校版環境ISO認定校として認定するものです。

平成23年度までに、市内の公立小・中学校全21校が認定され、学校ごとに目標を立て環境にやさしい活動に取り組んでいます。



チョコレート作りのようす



学校版環境ISOの認定式



南小学校環境委員会の取り組み

## 参加できる市の取り組み

三島市が行っている、環境に関する取り組みの中で、みなさんが参加できるものをしょうかいします。

### ガーデンシティみしま



「品格ある美しいまちなみの創造」「元気あるにぎわいづくり」「新たなコミュニティときずなづくり」を目的として、「水」「緑」「文化」「歴史」「景観」などの三島の財産に「花」という癒しの彩りをそえることで、みんなの手で美しく活気のあるまちづくりをする取り組みです。

学校や家庭でゴーヤやアサガオを育てて応募する「緑のカーテンコンテスト」、学校や地域で世話をしている花壇を対象とした「花壇コンクール」、よせ植えのつくり方と育て方を楽しく学ぶ「花育講習会」、「ゴミ拾いツアー」をはじめとしたきれいな街を守っていくために行われている美化活動など、参加できる行事がたくさんあります。

（みどり水のまちづくり課、商工観光課）  
環境政策課

### 水生生物観察会

夏休みには、親子で水の調査をする「夏休み親子水生生物観察会」が行われています。

（環境政策課）



### 環境学習

市内の小学生が、身近な自然学習などを通して環境について楽しく学びます。

（環境政策課）



### 環境ボランティア

「地域の環境は地域で守り育てる」を合言葉に、ごみ拾いや花壇整備、出前講座などの環境活動を行っています。

活動と一緒に参加してくれる環境ボランティアを募集しています。



（環境政策課）

市関係団体の取り組みも紹介します。

### 森の楽校

箱根西麓・接待茶屋の森で、木や草花とふれ合う体験活動や自然素材を使った工作などを通して、森の役割や大切さを楽しく学びます。

（箱根山組合）



## ISO14001ってなに？

ISOとは、世界共通の規格や基準などを定める民間の組織、「国際標準化機構」のことです。ネジの大きさや自動車の部品などの製品規格や、品質や環境を管理するシステムの規格も決められています。ISO14001とは、環境に悪いことはへらし、よいことは進めるように活動する取り組みが、しっかりと行われるようにきめた、環境の国際ルールです。